

水位計内の過酸化水素洗浄

レジオネラ菌が検出された際に発生源を突き詰めていくと、ろ過運転中に浴槽水が動かない“死水ポイント”にバイオフィルムが形成され、繁殖しているケースが非常に多いです。

「浴槽水が動かない」＝「塩素が入ってこない」ということになりますので、当然、菌は繁殖します。

定期的（年に1回以上）に水位計内の洗浄を実施するようお勧め致します。

■ 使用薬剤：過酸化水素（劇物の為、作業は専門業者へ委託）＋ 二酸化塩素

■ 作業内容：①水位計内の二酸化塩素処理

②水位計内の過酸化水素洗浄（水位計パイプ&電極の洗浄）

③中和

④排水

⑤循環浴槽系統内の二酸化塩素処理

⑥排水

■ 作業時間：1日仕事となるため、休館日に実施することになります。



まずは、水位計上部から二酸化塩素を流し込み浴槽までの到達距離を測ります。この段階でもバイオフィルムは剥離され流出します。



水位計上部から過酸化水素を流し込みます。水位計が機械室にないこともあり、洗面台などの下に設置されているケースがあります。



大量のバイオフィルムが剥離して浴槽水中に出てきました。



洗浄後にフタをはずしたところ、水位計内部から多量のバイオフィルムが出てきていました。

水位計内洗浄後、浴槽系統も汚染されるため最後に二酸化塩素処理を実施します。